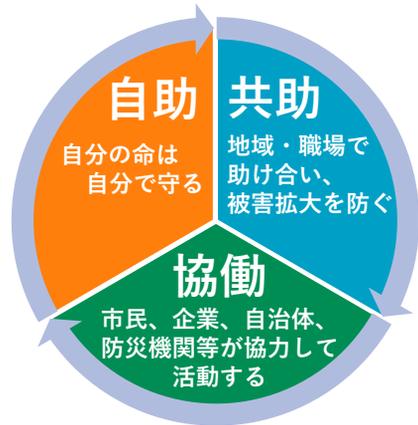




”自助”“共助”“協働”を原則として社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得した者を防災士と呼びます。防災士になるには、日本防災士機構からの認証が必要です。



移動薬局車が支援活動に参加しました

エマージェンシーファーマシストヴィーク(EPV)は、救急車を改造して、調剤室などの薬局機能を備えた可動力のある災害対策医薬品供給車両で、移動型薬局とも言われます。2011年の東日本大震災の経験を生かし、全国の薬剤師会や大学が配備しています。2016年4月に起きた熊本地震では、大分県の薬剤師会が初出動しました。今から30年以内に南海トラフ大地震が起これと言われています。災害に向けた準備は今からする必要があります。



平成30年西日本豪雨災害での支援活動（真備町 岡田小学校）



村木 理英 × AMDA

大地震などの大規模な災害が発生した場合、被災地の薬局は建物が倒壊したり、津波で流されたりで機能せず、薬は手配できません。そのため、薬がすぐに必要な場合や常用している薬がある被災者にとっては、時に命に関わる深刻な問題にもなりかねません。さらに調剤薬は、薬局を通してしか仕入れることができないという現実もあります。

そこでAMDA(Association of Medical Doctors of Asia)と必要な医薬品を備蓄し、災害時に提供する協定を締結しました。災害時に素早く被災地に駆けつけた医師や薬剤師たちと連携し、医療救護所や避難所等で被災者の方々へ支援活動を行っていきたいと考えています。

LRT化のメリットを考えよう

福井支線延長を実現しよう

提案① 道路整備

市街地南北道路
福井支線3467号南北延長



提案②

踏切問題の解消・東総社駅北口の開設



東総社駅付近の現状

LRT化によって広がる可能性



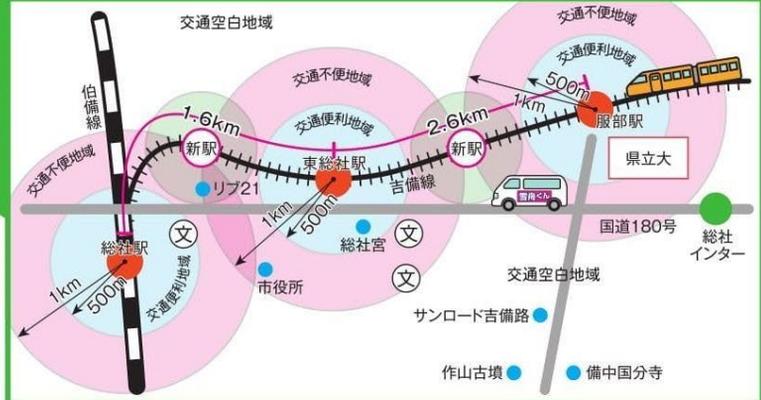
広々とした踏切(江ノ島電鉄)
併用軌道を踏切として活用している。



電車・車・人が共存(江ノ島電鉄)
同じ道路を共有している。



提案③



新駅を作り交通空白地域・交通不便地域を減らす

**福井支線の延長・LRTの導入は
総社市を更に発展させる
チャンスとなります!**



全国171のよう
な事例が
多数あります